

(第4号議案)

令和6年度事業計画(案)

<令和6年10月1日～令和7年9月末>

#### ◇活動の基本方針及び特色

令和6年度は、代表幹事が統括する『シン・ヤマナシ構築委員会』『山梨ブラッシュアップ委員会』により主に活動を行います。

『シン・ヤマナシ構築委員会』は、“シン・ヤマナシを具体的に実現”していくための活動(提言・行動)を基本とします。また、『山梨ブラッシュアップ委員会』は、これまでの“継続事業をさらに発展・進化”させる活動を基本とします。

なお、昨年度、特別委員会として立ち上げた『経済同友会中央日本地区会議実行委員会』は、“11月8日の会議(山梨開催)実行を目的”とした委員会活動を行います。

#### ◇主な事業と活動等

##### 1. シン・ヤマナシ構築委員会

委員長：長澤重俊(株)はくばく 代表取締役社長

##### 【テーマと方針】

当委員会の活動は、引き続き令和4年度にまとめた提言「シン・ヤマナシの実現に向けて」、つまり「若者が幸せに暮らせる山梨の実現」、「山梨に喜業家を創出すること」を共通のテーマに実施していきます。

令和6年度の新たな方向性として人口減少対策部会を立ち上げ、提言策定時には与件として扱った人口減少問題に改めてこの委員会として取り組むことといたしました。やはり将来を見据えた場合、若者が幸せに暮らせる山梨であるためには、出産や子育てが安心してできる状態になっていることが必要条件と言えます。日本全体においてもこの問題に真剣に向き合わなければ、国力として落ちていくことは間違いなく、経済界としても真剣に取り組む責任が大いにあります。

また、これまで勉強会部会として活動してきた部会を「シン・無尽」普及の活動を主にしてもらうために、名称もシン・無尽部会に変更します。リニア中部横断道部会については、若者が幸せに暮らすためにはインフラとしての山梨県内交通網の整備は必須であるため、引き続きこの部会としての積極的な活動を継続させます。

##### 【3つの部会活動】

##### (1) 人口減少対策部会

部会長：長澤重俊(株)はくばく 代表取締役社長

人口減少に対して長崎県知事の危機感は強く令和5年7月には「人口危機突破宣言」を行い、人口減少対策本部を設置して本格的にその対策に乗り出しているところです。その宣言の中にも触れられていますが、この人口減少のトレンドを変えていくには子供を産む世代の職場での働き方が大きく影響を及ぼします。そういう意味では山梨経済

界、それぞれの企業がこの問題にどう取り組むかが、この対策の成否を決めると言ってもいいでしょう。

この部会においては、まずは本総会にて内閣官房参与・人口問題担当の山崎史郎氏にご講演いただくことを皮切りに、人口減少問題の現状やその歴史、背景、原因について学ぶところから始めたいと思います。

次には山梨県としてどのような対策を講じようとしているのか、また経済界、企業にはどのような期待をしているのかを学んだうえで、山梨経済同友会として何を行ってあげればよいかを話し合い、具体的な活動に落とし込んでいきたいと思っています。最終的には提言という形になるのか、各企業への働きかけになるのかは現在のところ未定ですが、何等かの行動に移していこうと思っています。

## (2) シン・無尽部会

部会長：泉協康展 (株)野村證券 甲府支店長

---

シン・無尽部会では、令和6年度最初の取組みとして、前回好評であった若手・中堅社員意見交換会を若干スケールアップして10月16日にシャトレゼ談露館で開催する予定です。テーマを「山梨の人口をいかにふやすか」「街の活性化」としており、山梨を盛り上げる起点となればと期待しています。

このような企画を徐々に広げていき、シン・無尽の会がいたるところで開催されることを目標として活動していきたいと思っています。

## (3) リニア・中部横断道部会

部会長：宮田雅夫 東京ガス山梨(株) 代表取締役社長

---

中部横断道については、南部・北部区間の全線開通効果の再計測を研究していきます。同時に、リニア新駅周辺開発の動きに合わせ、交通インフラ整備全体がもたらす経済効果についても検討の準備を進めます。

リニア中央新幹線については、時短等の開通効果を踏まえた人口増加を目的に、リニア新駅とその周辺開発や交通網整備などにより、どのような打ち手を講じることが山梨県の発展に寄与できるのかを同友会として考え、提言できればと思います。行政や各種団体との連携・情報収集を行いつつ、「街づくりの基本コンセプト作り」や二次交通実行策の検討を行い、提言まで繋げられるよう、本部会の活動を行っていきます。

## 2. 山梨ブラッシュアップ委員会

委員長：入倉 要 (株)イリックス 代表取締役社長

### 【テーマと方針】

「上を目指す」「磨きをかけてよくする」「さらによくする」を委員会テーマとし、継続事業をブラッシュアップしながら進めます。

人づくりプログラム等を通じて、将来の山梨県経済の活性化に繋がるような人材育成

を行い、また、ICTを駆使し経済同友会の情報発信を行うと共に、会員交流及び会員拡大等の内部充実を図ります。

#### 【4つの部会活動】

##### (1) 女性活躍パートナー部会

部会長：坂井英子 エクシオグループ(株) 甲信支店長

---

山梨県や山梨大学などと産官学の連携を進めながら、他の部会とも調整を図り、継続的に『女性にプラス！パートナー会議』を開催し、女性同士のネットワーク作りと、さらに多様性を広げて山梨の未来への進化を目指して活動していきたいと思えます。

##### (2) つばさを広げる部会

部会長：上原伊三男 (株)印伝屋上原勇七 専務取締役

---

「つばさを広げる会（外部講師招請事業）」と「次世代育英講座（会員講師派遣事業）」の2つの事業を通じて、若手人材育成のための産学連携・交流活動を行います。

「つばさを広げる会」では、外部講師も交えて若者の「繋がりを創造していく場」「新しい価値観との遭遇」「変化を先取りする風土への変革」を実現するべく、シン・無尽部会と連携し、学生さん相互の交流への進化を目指して活動していきます。

「次世代育英講座」は、経済同友会の会員の皆様を、学校の現場へ講師として派遣するものです。派遣要請の際はご協力をよろしくお願いいたします。

##### (3) 山梨ネットワーク部会

部会長：原田由起彦 (株)テレビ山梨 代表取締役社長

---

ホームページは、皆様のご協力をいただき全面改訂を行い、公開致しました。今後も会報としての役割を担い、会員相互のホームページの有効利用を図っていきますので、会員の皆様から多くの情報をご提供頂きます様、お願いいたします。

また、AI・IoTの有効活用および5G(6G)等の研究については、引き続き「セミナーへのご案内」や「展示会や見学会参加」など会員の皆様に情報発信を継続して行っていきたく思っています。同時に、昨年度実施することが出来ませんでした部会独自の企画及び開催につきましても、今年度実施できる様検討していきたく思っていますので、会員の皆様のご理解を頂き、ご協力をお願いします。

##### (4) 運営部会

部会長：田淵幸弘 山梨フルーツリゾート(株) 代表取締役社長

---

各種の会議や連携事業・イベントなどの運営を担当するとともに、会員交流事業（会員交流に関して円滑な運営を行う）を担当し、また会員拡大など内部充実を図っていきます。

### 3. 中央日本地区会議実行委員会

委員長：山寺雅彦 (株)山梨中央銀行 代表取締役専務

---

11月8日に開催する経済同友会中央日本地区会議「山梨」は、11時にスタートし、JR東海山梨実験センターでのリニア体験乗車および山梨県立リニア見学センターの視察、バス移動後、会議、懇親会を経て18時過ぎに終了予定です。他県同友会の幹部役員をお招きして山梨の良さを発信していく機会でもありますので、山梨経済同友会の令和6年度の目玉事業とも捉えています。山梨らしい形を模索しながら開催の準備を進めていきたいと思いますので、各部会・委員の方々を中心にご協力を是非ともよろしくお願い致します。

以上

令和6年度(6年10月～7年9月)

委員会(部会)案

1. シン・ヤマナシ構築委員会 委員長:長澤重俊

令和5年8月に山梨県に提言した「シン・ヤマナシの実現に向けて」を当同友会としても実現していけるよう主体的に活動していくことを目的としています。シン無尽を広げていくことに加え今期からは若者が幸せを感じる山梨にしていく為に新たに人口減少問題にも取り組みます。

□	<p>①人口減少対策部会 <span style="float: right;">(長澤、山寺、雨宮、奈良田、五十嵐、宮崎、小澤)</span></p> <p>昨年の提言においては人口減少を前提として考えていたが、山梨県が本気でこの問題に取り組んでいることから山梨県経済界としてもこの問題に真剣に取り組むこととする。</p>
	<p>②シン・無尽部会 <span style="float: right;">(泉脇、杉原、田中(弘)、佐川、井内)</span></p> <p>期初において前回好評であった若手・中堅社員意見交換会を若干スケールアップし、テーマを「山梨の人口をいかにふやすか」「街の活性化」とした企画を行う。このような企画を徐々に広げていき、シン・無尽の会がいたるところで開催されることを目標として活動していく。</p>
	<p>③リニア・中部横断道部会 <span style="float: right;">(宮田、志村(浩)、依田、勝岡、飯島、小澤)</span></p> <p>中部横断道については、南部・北部区間の全線開通効果の再計測を研究し、またリニア新駅周辺開発の動きに合わせ、交通インフラ整備全体がもたらす経済効果についても検討準備を行う。リニアについては、行政や各種団体との連携・情報収集を行いつつ、「街づくりの基本コンセプト作り」や二次交通実行策の検討を行っていく。</p>

2. 山梨ブラッシュアップ委員会 委員長:入倉 要

※「上を目指す」「磨きをかけてよくする」「さらによくする」

人づくりプログラム等を通じて、山梨県経済の活性化に繋がるような人材育成を行う。また、ICTを駆使し経済同友会の情報発信を行うと共に、会員交流及び会員拡大等の内部充実をはかります。(これまで活動してきた継続事業が中心となりますが、新しく関わって頂く方も大歓迎です。)

□	<p>①女性活躍パートナー部会 <span style="float: right;">(坂井、豊前、齊藤(貴)、宮崎、田中(弘)、森、田中(慶)、金子、多田)</span></p> <p>山梨県や山梨大学などと産官学の連携を進めながら、他の部会とも調整を図り、継続的に『女性にプラス！パートナー会議』を開催し、女性同士のネットワーク作りと、さらに多様性を広げて山梨の未来への進化を目指して活動していきます。</p>
	<p>②つばさを広げる部会 <span style="float: right;">(上原、降矢、伊藤)</span></p> <p>県内の5大学と連携して、「つばさを広げる会」と「次世代育英講座」を企画運営するとともに若者の「繋がりを創造していく場」「新しい価値観との遭遇」「変化を先取りする風土への変革」を実現するべく、シン無尽部会と連携し、学生さん相互の交流への進化を目指して活動する。</p>
	<p>③山梨ネットワーク部会 <span style="float: right;">(原田、奈良田、鈴木、森、宮崎)</span></p> <p>経済同友会のホームページの有効利用を図っていく。 また、継続事業として5G・Ai・IoTの有効活用を生産性向上へ繋げる勉強会等を企画する。 SDGSその他の窓口情報活動をおこなう。</p>
	<p>④運営部会 <span style="float: right;">(田淵、伴野)</span></p> <p>常設の部会。会員交流事業及び会員拡大事業をおこなう。</p>
	<p>⑤中央日本地区会議実行委員会 <span style="float: right;">(山寺、降矢、北村、ほか)</span></p> <p>特別委員会組織。令和6年11月8日に予定される第32回中央日本地区会議の山梨開催を担当する。</p>

(※)さらには、報道機関との意見交換会を企画していきたいと考えています